

第 30 回全国都市緑化とっとりフェア
基本計画

平成 23 年 8 月 31 日

鳥取県・鳥取市
財団法人 都市緑化機構

目次

．全国都市緑化とっとりフェアの概要.....	1
1．開催概要.....	1
2．とっとりフェアの基本理念.....	4
3．とっとりフェアの基本方針.....	4
4．とっとりフェアの方向性.....	5
．会場計画.....	8
1．会場整備計画.....	8
2．植物調達監理計画.....	26
3．展示・出展計画.....	33
4．会場運営計画.....	43
．参画・参加・協働推進計画.....	52
1．参画・参加計画.....	52
2．協働推進事業計画.....	55
．観客誘致・広報宣伝計画.....	61
1．観客誘致計画.....	61
2．広報宣伝計画.....	64
3．行催事計画.....	73
4．営業参加計画.....	78
．交通輸送計画.....	80
1．基本的な考え方.....	80
2．計画方針.....	80
3．会場への交通手段.....	81
．事業推進計画.....	89
1．ボランティア計画.....	89
2．参加協賛計画.....	93
3．事業計画.....	95

・全国都市緑化とっとりフェアの概要

1．開催概要

(1) 名称

名 称：第30回全国都市緑化とっとりフェア

愛 称：県民へ公募する

(2) とっとりフェアの開催テーマ

全国統一の開催テーマ

「緑豊かな街づくり」

～窓辺に花を・くらしに緑を・街に緑を・あしたの緑をいまつくろう～

とっとりフェアの開催テーマ

「ともに育てる 身近な緑」～水と緑につつまれた世界ジオパークのまちから～

(3) シンボルマーク等

キャラクター

・県民、市民に親しまれているキャラクターをとっとりフェアキャラクターとする。

【使用キャラクター(案)】トリピー、イナバース、ピロロ・ポロロ、植樹祭キャラクターほか

シンボルマーク

・ガーデンデザイナーのポール・スミザー氏に依頼

シンボルフラワー

・フェアを契機にさらなる充実を図る協働の取り組みのアイテムとして、シンボルフラワーを設定する。

・シンボルフラワーは、鳥取(山陰地方)の郷土種の中からとっとりフェアに相応しい植物を選定中。

【シンボルフラワー(案)】山陰ギクほか3種程度選定



山陰ギク

(4) 開催主体

提 唱：国土交通省

主 催 者：鳥取県、鳥取市、財団法人都市緑化機構

事 業 主 体：全国都市緑化とっとりフェア実行委員会

(5) 会場

会場：湖山池公園 お花畑ゾーン【会場名：お花畑会場】
 フィールド催事会場：湖山池公園 こどもの遊びゾーン【会場名：青島会場】
 式典会場：コカ・コーラウエストスポーツパーク
 サテライト会場：とっとり花回廊・東郷湖羽合臨海公園
 まちなかスポット：鳥取駅、道の駅等の交通拠点、市内商店街、公共施設及び公園緑地、
 主要観光地及び観光拠点 等

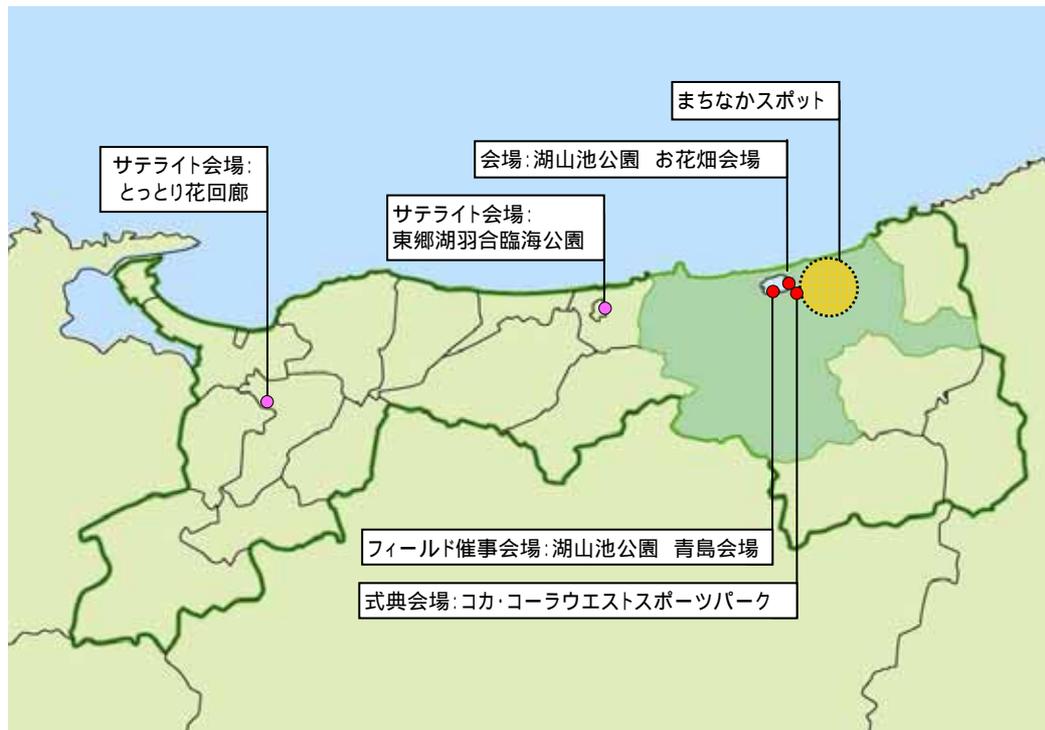
(6) 開催期間

平成25年 秋季(約50日間)

(7) 会場構成

名称	場所	基本的な考え方	事業主体
会場	湖山池公園 お花畑会場	会場の既存景観を活かし、様々な鳥取の魅力に触れながら、フェアを契機に充実を図る緑化推進や協働、まちづくりに寄与する会場展開を行う。	とっとり フェア 実行委員会
催事会場 フィールド	湖山池公園 青島会場	青島の既存資源を活かした様々な参加体験催事を通して、郷土の自然や景観、環境の再発見・再認識を行う会場として位置づける。	
式典会場	コカ・コーラ ウエストスポーツパーク (布勢総合運動公園)	フェアの公式行事、シンポジウム等の会場として位置づける。	
サテライト会場	・東郷湖羽合臨海公園 ・とっとり花回廊	フェアの全県をネットワークする県中部、西部を情報発信の場として位置づける。	
まちなか スポット	・鳥取駅、空港、道の駅等の交通拠点 ・庁舎等の公共施設 ・市内街区公園等の公園緑地 ・市内道路、河川等の公共空間 ・鳥取県内の主要観光地及び観光拠点 ・市内商店街、百貨店等	鳥取市街地を中心に魅力あふれるまちづくりに繋がる場所を「まちなかスポット」として位置づけ、市民力による緑化推進や協働の意識の高揚を目指す。	既存各主体 に依頼

会場位置図



(8) 入場方式

- ・ 周辺の公共施設の利用料金や他のイベントとの整合性を考慮し、課金を行う。

(9) 目標入場者数

30万人

(10) 事業費

概ね12億円

2. とっとりフェアの基本理念

鳥取には、多彩な海岸地形、緑豊かな山々、鳥取砂丘など、世界ジオパークにも認定された特有の自然環境が存在しており、人々は、水と緑あふれる豊かな自然と共に歩みながら、特色ある風土、暮らし、文化を育んできました。

そして、豊かな自然環境の保全活動や、鳥取大学の乾燥地科学に代表される学術的研究、砂地環境を活かした植物栽培や環境芸術としての砂像の製作、協働による芝生緑化など、地域の風土に根ざした先進的な取り組みや活動が行われています。

一方、本格的な環境時代が到来し、環境やまちづくりに果たす緑の役割、協働によるまちづくりの必要性の認識は全国的に高まっています。

全国都市緑化とっとりフェアは、水と緑あふれる鳥取の風土の特徴やジオパークの風景、鳥取の自然素材を活かし、鳥取らしいフェアの展開を図るとともに、先進的な技術や取り組みの紹介を通じて、自然を大切にしながら楽しむ鳥取の心を全国に発信します。

また、自然と共に歩む県民・市民の力を集結し、鳥取の風土を活かした緑化を協働により推進することで、鳥取らしい魅力あふれるまちを育む契機とします。

3. とっとりフェアの基本方針

鳥取の特徴あふれる風土の魅力発信

世界ジオパークエリアで開催される初の全国都市緑化フェアとして、ジオパークと調和した植物などの自然環境や環境を守り暮らしに活かす取り組みなど鳥取ならではの魅力を全国発信する。

花と緑と歩む新しい暮らしの体感

県民・市民が、フェアでの様々な取り組みを体感、実感し、緑を暮らしに取り込み楽しむ生活スタイルの創造や発見の契機となることを目指す。

さらに、暮らしやまちにとって自然や花・緑の重要性・必要性が浸透していくことを目指す。

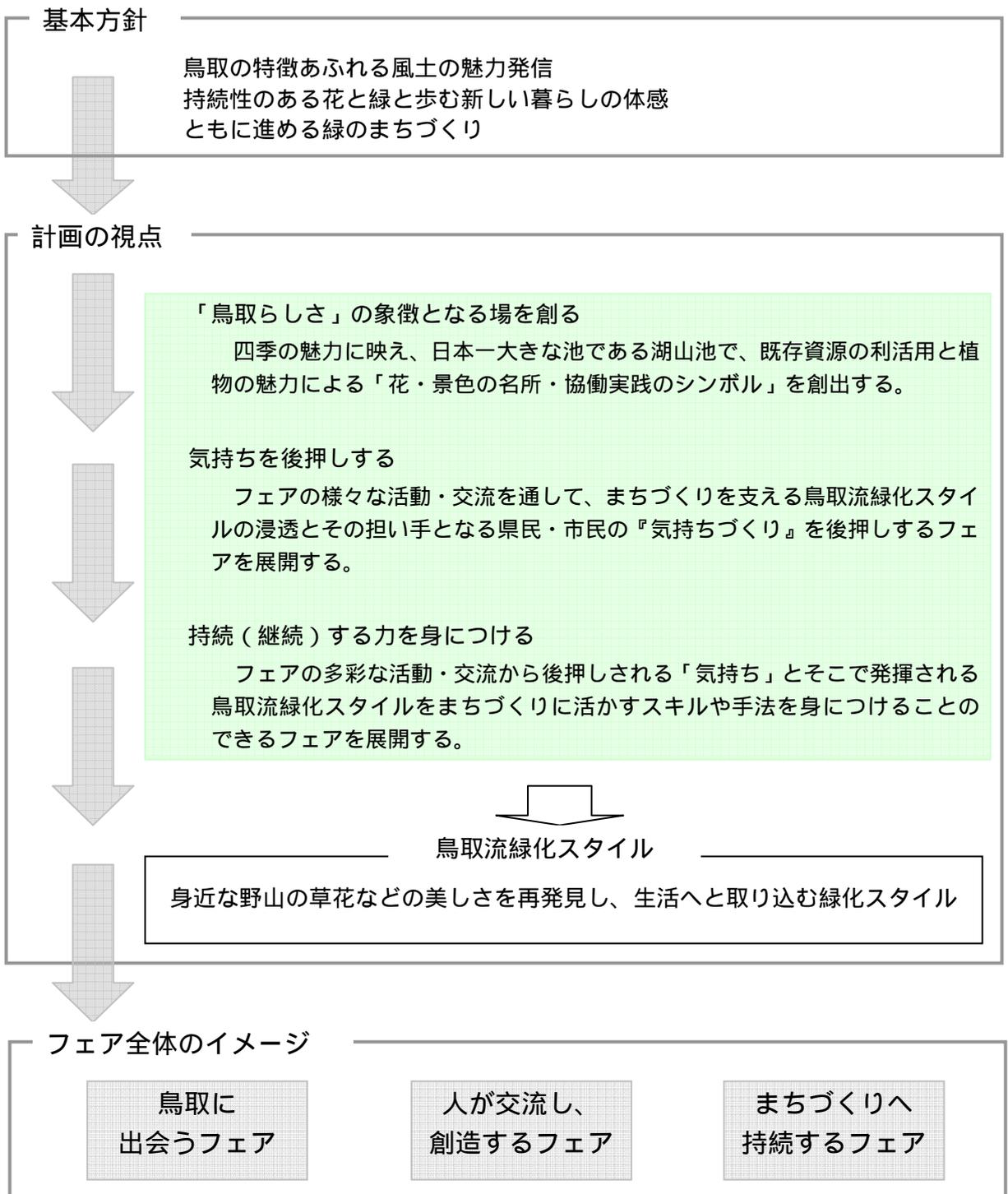
ともに進める緑のまちづくり

県民・市民と行政、学校、花や緑の専門家、まちづくり団体などが協働し、主体となってフェアに参加する機会を設けるとともに、フェア終了後も継続できる活動の場と、それを支える組織・仕組みを構築する。

4. とっとりフェアの方向性

(1) 基本的な考え方

とっとりフェアでは、3つの基本方針を基にジオパークに代表される自然環境と共生し、郷土の魅力を活かした持続性の高いまちづくりへと発展させるため、今後のまちづくりを支える「人づくり」を重視したフェアを展開する。



(2) フェア全体のイメージ

鳥取に出会うフェア

フェアを通じて鳥取の観光・産業・文化資源そして人的資源などの「鳥取の資産」を再発見・再認識し、市民・県民の気持ちや心・アイデアが見えるフェアを実現する。

ジオパークである湖山池の水辺景観を活かした会場づくりによる鳥取の自然環境の魅力を発信する。

鳥取流緑化スタイルの実践から、湖山池公園の新たな魅力を創造する。

会場の景観資源の活用にとどまらず、郷土色豊かな鳥取の自然や花卉、食文化などを発信し、活性化に繋がる「場」を設ける。

多彩なボランティアによるサービスの提供や交流を通して、鳥取のマンパワーが来場者に伝わる仕組みづくりを行う。

会場やまちなかの随所に展開する花や緑の協働の成果によって来場者をもてなす。

人が交流し、創造するフェア

今後のまちづくりや環境づくりに重要な取り組みや交流を実感・体感し、フェアの様々な場面で県民・市民の力を発揮されるフェアを目指す。

様々な企業・団体や県民・市民による多彩な鳥取の魅力の発信を通して、豊かなまちづくり・環境づくりに向けた機運を盛り上げる。

県民・市民がフェアの主役となる協働実践の「場」を設ける。

人財育成を積極的に行い、フェア後の活動を支援する組織・仕組みづくりの構築を目指す。

まちづくりへ持続するフェア

郷土色あふれるフェアで、まちづくりに繋がる「面白さ・楽しさ」の発見や高い「充実感・達成感」の実感、体感からフェア後の緑豊かなまちづくりに繋がる「鳥取流緑化スタイル」の構築を目指す。

植物の力・魅力を引き出す手法や、植物をより美しく、より自然に見せる手法を学ぶ「場」づくりを行う。

県民・市民・学校・花や緑の専門家・まちづくりや緑化にかかわる団体が日頃の成果や技術の情報発信、まちづくりに活かす技術を提案する「場」を提供する。

県内はもとより全国の緑化実践者との交流からフェアを振り返り、今後のまちづくりに繋げる機会を設ける。

世界ジオパークを舞台に開催されるフェアを契機に地域の自然環境への意識の高揚・醸成を図る。

(3) 各会場への展開イメージ

会場（お花畑会場）

世界ジオパークに認定された優れた風土景観（水辺のランドスケープ）を活かし、その良さを知ると同時に、鳥取流緑化スタイルの「ナチュラルガーデン」を中心に会場を展開する。

メッセージ性のある主催者の展示や会場を彩る修景、企業・団体・学校・県民市民等の多彩な参加者の出展を展開する。

花と緑の魅力や関わり方を考えるきっかけづくりや緑化に関する情報発信、協働推進の実践などを通して、今後の花と緑のまちづくり、協働推進の基礎づくりを行う。

フィールド催事会場（青島会場）

多様な景観が凝縮された青島で、『自然とのふれあい・体験の場』として、青島のフィールドを活かした様々な参加体験を通じ自然との関わり方や環境への意識向上を目指す会場とする。

既存樹木の整理や催事拠点の整備などを行い、既存資源を活かした催事利用から新たな青島の活用を創造する。

鳥取の誇るジオパークエリアでもある湖山池を再発見・再認識から自然と共生する気持ちづくりのきっかけを創る。

式典会場（コカ・コーラウエストスポーツパーク）

開閉会式、全国都市緑化祭などの公式行事やシンポジウム等を展開する。

サテライト会場（とっとり花回廊・東郷湖羽合臨海公園）

東部で開催されるフェアを全県に展開するため、情報発信を中心に事業主体の協力のもと展開する。

会場におけるPRブースの設置、花壇等の修景や講演会をはじめ、県内の都市公園や名所の情報発信を行う。お花畑会場と共に全県のネットワークを図る。

まちなかスポット

鳥取市内で花や緑のまちづくりに取り組んでいる公園や商店街、フェアを契機に緑化に取り組む公共空間などをフェアの協賛スポットとして設定し、花や緑あふれるまちづくりの機運を盛り上げる。

駅やサービスエリア、主要な観光地など多くの来訪者が訪れる要所も既存の事業主体の協力のもと協賛スポットとして設定し、まち全体でフェア開催を盛り上げる。